

3月4日(土)・3月5日(日)『沖縄空手会館』開館 落成記念式典・関連イベント開催レポート

「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信

沖縄県は、全国唯一の空手に特化した公共施設として「沖縄空手会館」を2017年3月4日(土)に開館しました。開館を記念して3月4日(土)に落成記念式典及び関連イベント(招待制)、5日(日)に交流演武会・公開稽古(一般公開)を実施しましたのでご報告します。

落成記念式典には、翁長雄志沖縄県知事、内閣府特命担当大臣・鶴保庸介氏をはじめとする来賓及び関係者約700名が参列し、主催者、来賓者よりご挨拶をいただきました。また沖縄伝統空手道振興会の代表者や世界空手選手権大会(2016年10月)の男子団体形で優勝した喜友名諒選手(沖縄県出身)等による記念演武が実施されました。

「沖縄空手会館」は、沖縄空手を保存・継承・発展させ、「空手発祥の地・沖縄」を国内外に発信する拠点となる施設として、空手の経験の有無に関わらず沖縄の宝である沖縄空手の世界をたくさんの人に体験していただけるよう目指していきます。



■落成記念式典及び関連イベント模様

当日は晴天に恵まれ3月4日の「三線(さんしん)の日」とかけて、三線の演奏にのせた琉球舞踊「かぎやで風」の演舞で式典がスタートしました。

翁長雄志沖縄県知事の式辞に続き、来賓の代表として内閣府特命担当大臣・鶴保庸介氏をはじめとする5名の方に祝辞をいただきました。祝辞では、海外にも広まった沖縄の文化である空手の殿堂が落成したことを喜び、今後空手の聖地として世界から空手家が集まることや、未経験の方にも空手を知っていただく機会になると、空手会館への期待が寄せられました。



沖縄伝統空手道振興会による記念演武では、昨年 10 月にオーストリアで行われた世界空手道選手権大会において、男子団体形で優勝した喜友名諒選手、金城新選手、上村拓也選手の 3 選手が登場し、一糸乱れぬ迫力のある「アーナン」の形の団体演武が披露されました。



団体演武に続き、剛柔流・平良貞行(教士 8 段)氏、上地流・島袋春吉(教士 8 段)氏、小林流・大城功(範士 9 段)氏、松林流・平良慶孝(範士 10 段)氏、剛柔流・八木明達(範士 10 段)氏、古武術・阿波根直信(範士 10 段)氏、少林流・島袋善俊(錬士 6 段)氏、剛柔流・久場良男(範士 10 段)氏の 8 名による各流派の特色ある個人演武が披露されました。技を極めた高段者による演武に会場からは拍手がおこり、「沖縄空手会館落成記念」式典は無事終了しました。



式典後、空手関係者によるシンポジウムが開催されました。「沖縄の歴史と空手」と題して、沖縄県立博物館・美術館の田名真之館長による基調講演に続き、「空手振興ビジョン」をテーマに宮城篤正(元沖縄県立芸術大学学長)氏、島袋善保(沖縄伝統空手道振興会副会長)氏、喜友名朝孝(沖縄伝統空手道振興会理事長)氏、知念賢祐(ワールド王修会会長)氏、佐久本嗣男(全日本空手道連盟常任理事 選手強化委員)氏、岩本明義(三田空手会相談役)氏、和田光二(三田空手会理事)氏、前田光幸(沖縄県文化観光スポーツ部長)氏 8 名によるパネルディスカッションが展開されました。



■3月4日(土)スケジュール

- 9:30 記念植樹、奉納演武
- 10:30 テープカット、泡盛の甕入れ式、落成記念切手贈呈式
- 12:00 落成記念式典
- 13:00 空手シンポジウム



■3月5日(日)スケジュール

- 9:20~11:05 交流演武会(三田空手会、沖縄伝統空手道振興会)
- 9:30~17:00 公開稽古(沖縄伝統空手道振興会)



■今後の「沖縄空手会館」での実施予定イベント(県主催)

- ・2017年8月:沖縄伝統空手・古武道国際セミナー
- ・2018年8月:第1回沖縄空手国際大会、沖縄伝統空手・古武道国際セミナー

■2020年東京オリンピック関連

ニュージーランド空手代表チームが2020年の東京オリンピックに向けた強化合宿を県内で予定し、「沖縄空手会館」での練習も検討中。

■沖縄空手会館概要

- 所在地 : 沖縄県 豊見城市字豊見城 854 番地 1(豊見城城址跡地)
- 敷地面積 : 3.8 ヘクタール
- 主要用途 : 空手道場および展示施設
- 延床面積 : 約 7,810 ㎡
(道場施設 5,917 ㎡/展示施設 1,803 ㎡/特別道場 91 ㎡)
- 建物構造 : 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
- 建物階数 : 地上 1 階 一部(電気室等)2 階
- 公式サイト: <http://karatekaikan.jp/>

